

nichicon

屋内用蓄電システム ESS-P1S1

取扱説明書



このたびは、ニチコンのポータブル蓄電システムをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書の巻末には保証書が印刷されています。

添付されている製造番号ラベルを忘れずに貼り付け、

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

はじめに	1.安全のために必ずお守りください.....	3
	2.取り扱い上のお願い.....	6
	3.もしもの「安心」、いつもの「節電」.....	7
	4.接続できる機器.....	7
	5.開梱時の確認.....	8
	6.各部の名称.....	9
使い方	7.基本的な使い方.....	10
	8.操作部の名称とはたらき.....	12
	9.パネル表示内容.....	13
	10. 設定操作方法.....	15
	①時刻設定.....	16
	②メンテナンスモード運転の実施.....	17
	③ピークシフト設定.....	18
	④手動(強制)充電の開始と停止.....	22
	⑤ピークシフト放電動作(放電停止).....	23
	⑥本体情報表示.....	24
	⑦ ログ表示.....	25
設定	11. こんなときは.....	27
	12. 注意ランプ(橙)が点滅したとき.....	28
	13. 警告ランプ(赤)が点灯したとき.....	29
	14. 点検とメンテナンス.....	30
	15. 保証とアフターサービス.....	31
点検	16. 仕様.....	32
	17. 外形寸法.....	33
その他	ポータブル蓄電システム保証書.....	35

1.安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられたあとも、ご利用される方がいつでも参照できる場所に必ず保管してください。
- また、「危ない」と感じたときは「AC出力スイッチ」をOFFにし、入力のACケーブルを抜いてください。
(AC出力スイッチにはカバーがついています)

取扱説明書では危険の程度を表す言葉を次のように3つに区分しています。

 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取り扱いをした場合、重傷を負う可能性は少ないが、軽傷を負う危険が想定される場合、および物的損害が想定される事項。
<ul style="list-style-type: none"> ・重傷とは、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、ならびに治療のために入院や長期通院を要するものをいいます。 ・軽傷とは、重傷に該当しないけが、やけど、感電などをいいます。 ・物的損害とは、家屋、家財および家畜やペットにかかわる拡大損害をいいます。 	

また、危険に対する注意事項や表示を次の三種類の記号を使ってあらわしています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

 三角形	注意マーク (注意の喚起)	この記号は、指示を守らないと「危険が発生するおそれがある」ことを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。
 白丸に斜め線	禁止マーク (行為の禁止)	この記号は、行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は「してはならない行為」の内容を図案化したものです。
 黒丸	指示マーク (行為の強制)	この記号は行為の指示を表します。記号の中の絵表示は、「しなければならぬ行為」の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

絵表示の例

注意マーク			
	* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告		* 回転物注意 誤った取り扱いによって回転物によるけがを負うおそれがあることを示しています
禁止マーク			
	* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告		* ぬれ手禁止 ぬれた手で触らないでください
	* 火気厳禁 安全のために、火気の使用を禁止することを示しています		* 水ぬれ禁止 結露しやすい環境や水がかかる場所に置かないでください
指示マーク			
	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるよう指示する表示		* プラグを抜け 安全のために、電源コードのプラグを必ず抜くように指示するものです

⚠ 危険

禁止 	■蹴ったりぶつけたりして強い衝撃を与えない ●変形して、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります
	■コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■熱源の近くに設置しない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■もれた液体にふれない ●液体が目に入ったときは、こすらず、きれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の診察を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となるおそれがあります。
分解禁止 	■分解・修理・改造をしない ●感電や傷を負うおそれがあります。
水ぬれ禁止 	■結露しやすい環境で使用及び保管しない。また、水ぶきはしない ●感電、短絡、発熱、発火、発煙、火災などの原因となります。
ぬれ手禁止 	■ぬれた手で、本装置や接続する電気機器のプラグに触れない ●感電の原因となります。
指示 	■本装置から異臭、発熱、発煙が発生した場合は、AC出力スイッチをオフにし、入力のACケーブルを抜く ●そのまま使用すると、場合によっては発熱、破裂、発火する原因になります。

⚠ 警告

禁止 	■もれた液体が皮膚や衣服に付着したときは、こすらず、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください ●皮膚に障害を起こす原因となります。
	■子供を近づけない ●感電・やけど・火災のおそれがあります。
	■灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない ●災害時に火災の原因になることがあります。
	■上に乗ったり、座ったり、物を置かない ●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。
	■可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm以内） ●電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。
	■吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差しこんだり中に入れてたりしない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない ●機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの作動に一時的な影響を与える場合があります。
	■本製品は横置き禁止です。必ずキャスターを下にして使用する ●液漏れ・発熱・火災・感電・故障の原因となります
	■通電中に装置を移動しない ●火災・感電・故障の原因となります。
	■傷ついたケーブルを使用しない ●感電や火災の原因となります。
分解禁止 	■ねじを外したり分解をしない ●内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。
感電注意 	■災害などにより蓄電装置が浸水、水没、変形、破損などした場合、本製品に近づかない ●感電・有害ガスの発生・発熱・発煙・発火・蓄電池から電解液が漏れるなどの危険がありますので、本製品を停止させ、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。
指示 	■蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する ●入力のコネクトを抜いても、感電や傷を負うおそれがあります。十分注意してください。
	■煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、「AC出力スイッチ」を押し、出力を停止した後、入力のコネクトを抜く ●そのまま使用すると火災の原因となる場合があります。すみやかに販売店にご連絡ください
	■ケーブルにつまつかないようにする ●転倒しけがをする場合があります。

⚠ 警告(続き)

指示 	■配線に物をのせたり、引っ張ったり、押しついたりしない ●火災や故障の原因となります。
	■配線をキャスターやストッパーで押しつぶさない ●火災や故障の原因となります。
	■入力の AC ケーブルは添付品以外は使用しないでください ●火災、発煙、故障、動作不良の原因になります。
	■電源プラグは、奥まで完全に差し込んでください ●火災、発熱、感電の恐れがあります。
	■配線は束ねないでください ●火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止 	■起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない ●ポンプやモーターなど負荷によって使用できないものがあります。
	■近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない ●引火し、やけど・火災の原因となることがあります。
	■警告ランプ、注意ランプが連続的に点灯・点滅している状態のまま放置しない ●蓄電池が充電されずに使用できなくなり、電池交換(有償)となる可能性があります。 ●出力が停止する可能性があります。
	■振動する場所に長時間置かない ●故障の原因となります。
指示 	■本装置は重量物(約38kg)なので移動時は注意する ●腰を痛めたり、転倒してけがをする恐れがあります。
	■電氣的雑音の影響を受ける装置は本装置から離す ●蓄電装置から発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線の通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。
	■移動は慎重に行う ●勢いがつきやすいので、ぶつけないようにする。 ●キャスターに体が挟まり、けがをするおそれがあります。
	■ストッパーを使用する ●少しの力で動いてしまうので、設置後は必ずストッパーで固定する。
	■入力のACケーブルは添付品を使う ●適切でないケーブルは火災の原因となります。
必ずアース 線を接続 	■コンセントのアースを接続する ●アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

この製品の使用目的と制限

一般家庭用の電気製品や事務機器を接続し、入力電圧低下(停電)時に電気を供給することを主目的として開発されたものです。したがって以下のような用途には使用しないでください。

- ・ 人体/生命に重大な影響を及ぼすような医療機器
- ・ きわめて高度な信頼性を要求される原子力/航空宇宙機器など
- ・ 工作機械の制御
- ・ 交通機関(電車や自動車など)の制御や管制

入力電圧低下(停電)時に蓄電池出力に切り替わるまでの時間は最大*10msです(UPS機能)。

10msの停電に対応していない機器は正常に動作しない可能性があります。

(※10msは1/100秒です。)

2. 取り扱い上のお願い

<p>禁止</p> 	<p>■ 次のような場所には設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 屋外 □ 標高 1500 m より高いところ □ 温度変化が激しいところ □ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ □ 振動、衝撃の影響が大きいところ □ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ □ 浸水のおそれがあるところ □ 風通しが悪いところ □ 直射日光が当たるところ □ 温度：0℃～+ 40℃以外のところ □ 湿度：0～90%以外のところ、結露が発生するところ □ 傾いている（水平でない）所
	<p>■ ひずみや変動の大きな電源を入力に接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入力に電圧歪の大きい発電機などを使用すると入力異常を感知し、蓄電池運転になります。 ● 発電機によっては、蓄電池に充電できない場合があります。
	<p>■ 装置の近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレビの画面が乱れたり、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。 ● 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 ● 出力ケーブルは 10m 以内にしてください。
	<p>■ 出力コンセントには、合計で 10A、800W 以上の機器を接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器の故障の原因となることがあります。
	<p>■ 吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度上昇により本製品が自動停止する可能性があります。
	<p>■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製品の変色やひび割れの原因となります。
<p>注意</p> 	<p>■ 重塩害地域ではさびに注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 錆が発生する場合があります。
<p>指示</p>	<p>■ 取扱説明書を熟読する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。
	<p>■ 廃棄処理・リサイクルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄・リサイクルする場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 リチウムイオン電池を内蔵しており、大きな力が加わると破裂、火災の危険があります。

3.もしもの「安心」、いつもの「節電」

本製品は、家庭用コンセントに接続し充電した電気を、入力電圧低下(停電)時や電源の無い環境でご使用になれます。

設置工事は不要で、家庭の接地付コンセントに接続するだけで、すぐにご使用になれます。

■もしもの停電時も「安心」!

- 災害時、電気が使えるとテレビやスマートフォンから情報を得られます。
- 停電時も冷蔵庫やレジなどに最小限の電力を確保できます。(定格出力範囲内)
- 出力コンセントに接続している家電製品は、切り替えなしで停電中もそのままご使用になれます。
- 切り替え時間が*10ms以下なので、急な停電時にパソコンのデータが消えずに済みます。
※10msは1/100秒です。

■「いつでも」!

- あらかじめ充電をしておくことで、停電している最中でも電気製品を使用することができます。
- 夜間蓄えておいた電気を昼間に使用することができます。(ピークシフト運転)

4.接続できる機器

出力の2つのコンセントから出力可能な電力は、合計10A 800Wです。

接続家電製品例

- ・冷蔵庫：120 W
 - ・液晶テレビ：170 W
 - ・リビング用 LED シーリング照明：100 W
 - ・ノートパソコン、ルーター等：30 W
 - ・携帯電話充電(2台)：10 W
- 合計：約 430 W**

入力電圧低下(停電)時に使用可能な時間は、おおよその目安として、800W出力時に約2時間、430W出力時に約4時間です。(初期値、満充電状態のとき。諸条件やバッテリーの状態によって異なります)

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、注意アラームが発生したり、内部の安全装置が作動して出力を停止することがあります。

出力コンセントへの接続は下記のとおり注意してください。

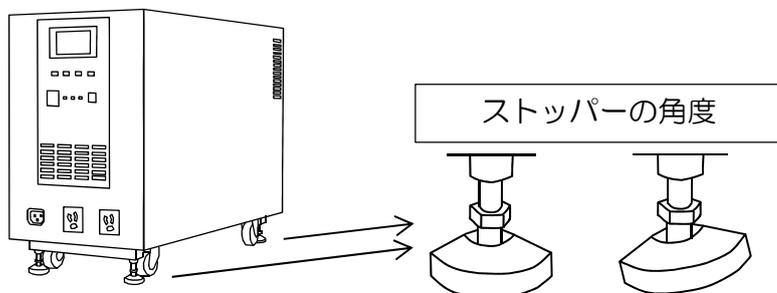
生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	インバータ回路を搭載していない冷蔵庫、掃除機、洗濯機、ヒーター、熱帯魚用ポンプ、トランス等
アンバランス負荷	動作しない場合がある	ドライヤー等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ等

- ・消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、出力定格を超えないように工夫してください。
- ・注意ランプが点灯した場合は、接続している家電製品の数を減らしてください。

5.開梱時の確認

製品を梱包箱から取り出したら、以下のものが入っていることを確認してください。
また、製品本体にへこみ、ゆがみなどが無いことをご確認ください。
なお、本体下部のストッパー4個は可傾式になっています。床面に合わせて角度が調整できます。

- 製品本体



- ACケーブル (2m 本蓄電システム入力専用)



- 取扱説明書(本書巻末に保証書)



- 製造番号ラベル(1枚)
本取扱説明書と同じ袋に入っています。巻末の保証書に貼り付けてください。



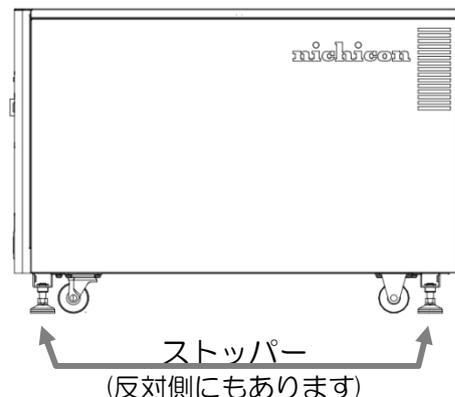
7. 基本的な使い方

設置する

★移動するとき

設置場所まで移動したら、必ずストッパーを固定状態にしてください。

- 4 個全てのストッパーを回し、一番上まで上げた状態で移動してください。ストッパーが段差等に引っかかると、転倒したりストッパーが折れる原因になります。
- ストッパーの収納状態の高さは約 7mm です。それ以上の段差の場合は前または後ろを片側ずつ持ち上げて段差を乗り越えてください。
- 約 38 kgあるため、持ち上げる際は一人で行わないでください。また、おろす時は手や足を挟まないように注意してください。
- キャスターは、後ろ側のキャスターは角度が固定されています。無理に動かそうとするとフローリング等の床を傷つける原因となります。
- ストッパーを使用しても、大きな力が加わると動きます。

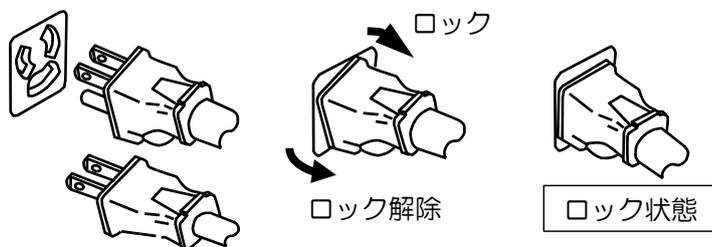
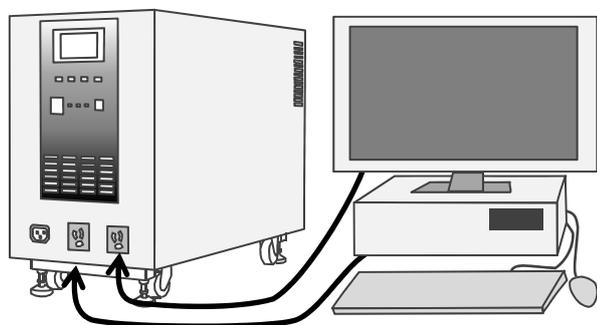


家電製品を接続する

本体の出力コンセントに、使用する電気機器のプラグを差し込み、右にねじるとロックがかかります。ロックを掛けると、ケーブルが抜けてしまう事によるパソコンの電源シャットダウンを防ぐ事ができます。

一般の差し込みプラグ（平行刃）を差し込んで使用する事もできます。

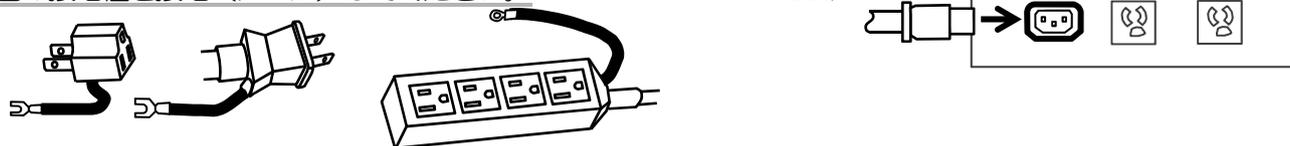
プラグを差し込んで右に回すと、引いても簡単には抜けなくなります。外す場合はプラグを左に回してロックを解除してから引き抜きます。



入力の AC ケーブルを接続する

- (1) 付属品の入力用 AC ケーブルを接続します。
延長コードなどを使用して入力の AC ケーブルを延長するときには、15A 以上流せるものをご使用ください。
- (2) 「AC 入力」のランプが点灯します。
- (3) 表示部(液晶)にホーム画面が表示されます。

2 極のテーブルタップなどを使用する場合でも必ず緑色の接地極を接地（アース）してください。



出力を開始する / 出力を停止する

AC 出力スイッチは、誤って押せないようにカバーが付いています。カバーを開けて中のスイッチを操作してください。

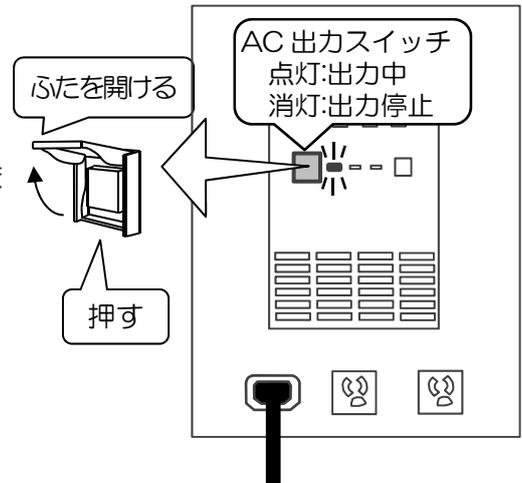
入力があるときに出力を開始することで、自動的に充電が行われます。

[AC 出力スイッチ]が消灯しているとき

- 出力が停止しています。
- 出力を開始するには AC 出力スイッチのふたを開け、[AC 出力スイッチ]を押します。
- 出力準備中はブザーが鳴り、[AC 出力スイッチ]が点滅します。(この時のブザーは止められません)
- 出力を開始すると[AC 出力スイッチ]が点灯します。
- この状態で、使用する電気機器の運転を開始してください。

[AC 出力スイッチ]が点灯しているとき

- 出力中です。
- 出力を停止するには AC 出力スイッチのふたを開け、[AC 出力スイッチ]を押します。
- 出力が停止すると[AC 出力スイッチ]が消灯します。



- AC 出力スイッチが点灯していれば、停電時には自動的に蓄電池からの電気に切り替わります -

- ※入口に電源を接続しない場合でも出力可能ですが、蓄電池に蓄えられている電気を使ってしまいますので、通常は入力の AC ケーブルを接続し、AC 入力ランプが点灯している状態でご使用ください。
- ※注意、警告がある場合、注意ランプ(橙)や警告ランプ(赤)が点滅/点灯し、液晶に注意コード、警告コードが表示されます。「注意ランプが点灯した時」(24 ページ)、「警告ランプが点灯した時」(25 ページ)を参照してください。

動作確認

- (1) 停電になっても問題ない電気機器を出力端子に接続し、AC 出力を開始します。
- (2) 入力の AC ケーブルをぬき、疑似的に停電状態にして、家電製品が正常に動作していることを確認します。

ブザーの止め方

- 注意ランプ点灯時のブザーはしばらくすると止まります。
- 注意ランプ、警告ランプがついているときのブザーは停止できます。ブザーオフスイッチを 0.2 秒以上長めに押してください。手を離れたときに停止します。

時計の合わせ方

- 操作方法は 16 ページを参照してください。

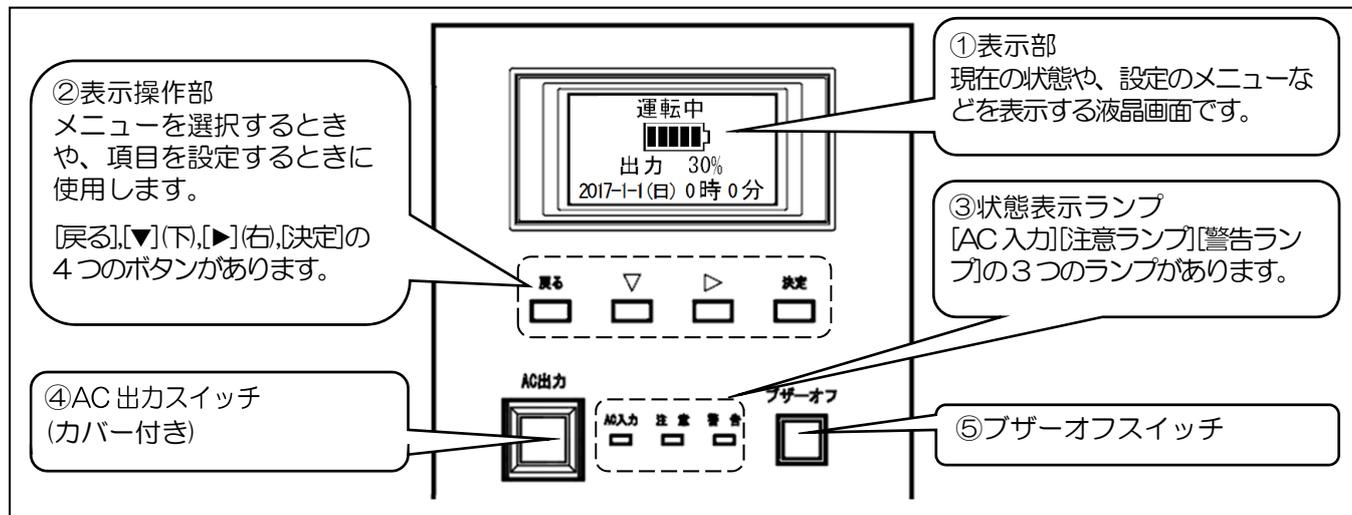
メンテナンスモード

- メンテナンスモードの実行要求が表示されたときは、バッテリーの状態確認のため、メンテナンスモード要求画面が表示されたら、決定ボタンを押し、メンテナンスモードを実行してください。毎年 6 月にメンテナンスモードの実行要求画面が表示されますが、手動でもメンテナンスモードを実行することができます。操作の詳細は 17 ページを参照してください。

基本的な使い方は以上です

8.操作部の名称とはたらき

操作方法の概要を説明する



使い方

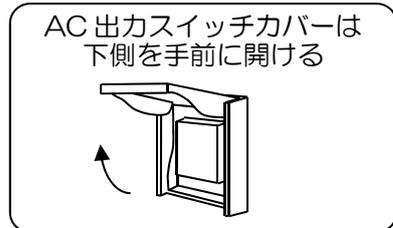
②表示操作部
メニューを選択するときや、項目を設定するとき
に使用します。
[戻る],[▼](下),[▶](右),[決定]の4つのボタンがあります。

[戻る]	<ul style="list-style-type: none"> メニューの選択中は、1つ前のメニューに戻ります。 項目を設定中なら処理を中断し、値は変更せず、前のメニューに戻ります。
[▼](下)	<ul style="list-style-type: none"> 1つ下の行に移動します。 画面一番下で▼ボタンを押すと、一番上の行に戻ります。 項目を設定する時に、選択内容や値の変更ができます。
[▶](右)	<ul style="list-style-type: none"> メニュー右端に▶が表示されているとき、▶ボタンを押すとそのメニューに入ります。 項目を設定する時に右への移動に使用します。(時刻設定時の桁の移動等) この場合、一番右で▶ボタンを押すと、一番左に戻ります。
[決定]	<ul style="list-style-type: none"> メニューの選択中は、そのメニューに入ります。(▶と同じ。) 項目を設定するときは、ボタンを押すと決定し、前のメニューに戻ります。

③状態表示ランプ
状態を表示するために以下の3つのランプがあります。

AC入力 (薄緑色)	電圧が入力されているときに点灯します。
注意ランプ (橙色)	正常動作できないときや、正常動作ができなくなりそうな時に点灯/点滅します。
警告ランプ (赤色)	故障が発生した場合に点灯/点滅します。

④AC出力スイッチ
誤って押せないように、このスイッチにはカバーが付いています。
カバーを開けて中のスイッチを操作してください。
スイッチを押すたびに、出力を開始(ON)したり、出力を停止(OFF)することができます。出力停止中にこのスイッチを押すと、スイッチが点滅し出力準備を開始し、出力を開始するとスイッチが点灯します。
入力がないときでも出力できますが、



⑤ブザーオフスイッチ
ブザーが鳴っているときに0.2秒以上押して離すと、ブザーが停止します。
なお、通常運転中(入力電圧低下(停電)でも放電中でもなく、注意や警告もないとき)に5秒以上長押しすると、ピピッ、ピピッ、とブザーが鳴りはじめ、10秒時点でピーと鳴り、スイッチを離すとバッテリー運転(放電)テストを開始し、5分後に通常運転に戻ります。

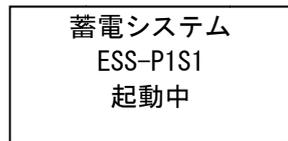
9. パネル表示内容

画面は 8 種類あります。

画面 1) 起動画面	入力電源を接続してしばらくすると数十秒間表示されます。
画面 2) ホーム画面(通常画面)	普段表示されている画面です。
画面 3) メッセージ画面	運転モードが切り替わったときなどに表示されます。
画面 4) メンテナンスモード運転要求画面	メンテナンスモード要求発生時に表示されます。
画面 5) メニュー画面	設定を変更したり表示を確認するときの画面です。
画面 6) 注意発生時画面	注意発生時に表示されます。(詳細は 28 ページ)
画面 7) 警告発生時画面	警告発生時に表示されます。(詳細は 29 ページ)
画面 8) 内部通信異常時画面	内部通信異常時に表示されます。

画面 1) 起動画面

AC 入力が入ってしばらくすると、起動画面(トップ画面)を表示します。異常がなければ約 15 秒で起動画面は消えて画面 2) に切り替わります。



画面 2) ホーム画面(通常画面)

起動画面の後に表示されます。通常時は 4 行表示です。

(メンテナンスモード運転を要求しているとき、注意、警告が出ているとき、設定変更中は別画面を表示します)

<p>① 1 行目：運転モード 下表の 1)~6) のうち、いずれかを表示します。 表示が更新されるまで、最大 10 秒かかることがあります。</p> <table border="0"> <tr> <td>1) 待機中</td> <td>AC 入力正常、AC 出力停止中</td> </tr> <tr> <td>2) 運転中</td> <td>AC 入力正常、AC 出力中。 ただし、出力中に充電しているときには、「充電中」表示となります。</td> </tr> <tr> <td>3) 停電時運転中</td> <td>AC 入力停電、蓄電池で放電中(停電、電圧低下またはコールドスタート)。</td> </tr> <tr> <td>4) 放電中</td> <td>AC 入力が正常、蓄電池で放電中。</td> </tr> <tr> <td>5) 充電中</td> <td>蓄電池の充電中。</td> </tr> <tr> <td>6) メンテナンスモード 運転中</td> <td>メンテナンスモード運転中。AC 入力があり、蓄電池の放電, 充電中。</td> </tr> </table>	1) 待機中	AC 入力正常、AC 出力停止中	2) 運転中	AC 入力正常、AC 出力中。 ただし、出力中に充電しているときには、「充電中」表示となります。	3) 停電時運転中	AC 入力停電、蓄電池で放電中(停電、電圧低下またはコールドスタート)。	4) 放電中	AC 入力が正常、蓄電池で放電中。	5) 充電中	蓄電池の充電中。	6) メンテナンスモード 運転中	メンテナンスモード運転中。AC 入力があり、蓄電池の放電, 充電中。	<p>① 運転モード ② 電池残量 ③ 出力 x % ④ メッセージ</p>
1) 待機中	AC 入力正常、AC 出力停止中												
2) 運転中	AC 入力正常、AC 出力中。 ただし、出力中に充電しているときには、「充電中」表示となります。												
3) 停電時運転中	AC 入力停電、蓄電池で放電中(停電、電圧低下またはコールドスタート)。												
4) 放電中	AC 入力が正常、蓄電池で放電中。												
5) 充電中	蓄電池の充電中。												
6) メンテナンスモード 運転中	メンテナンスモード運転中。AC 入力があり、蓄電池の放電, 充電中。												
<p>② 2 行目：電池残量 電池残量のめやすを の絵で表示します。一目盛り約 20% です。 充電中は、電池の絵が点滅します。(メンテナンスモード運転時は点滅しません)</p>													
<p>③ 3 行目：出力 x % 出力の定格に対する割合を表示します。(表示値はある程度の誤差があります。) 運転モードにより、若干のずれが生じます。 特に出力が少ない場合(10%程度以下)では誤差が大きくなります。 また、出力が 30W 以下の場合、0%と表示します。</p>													
<p>④ 4 行目：現在日時 または メッセージ 正常時は現在日時を表示します。 注意、警告があった時は、メッセージを表示します。 複数の注意や警告を検知したときは、より重要度の高いものを表示します。</p>													

ホーム画面例)

<p>待機中 出力 0% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>	<p>運転中 出力 30% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>	<p>停電時運転中 出力 80% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>
<p>放電中 出力 40% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>	<p>充電中 出力 80% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>	<p>メンテナンスモード 運転中 出力 20% 2017-1-1(日) 0時 0分</p>

画面 3) メッセージ画面

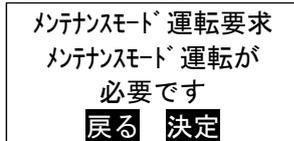
- 運転モードが切り替わったとき
- 運転開始、運転停止、ピークシフト放電開始、ピークシフト充電開始等
- 手動による放電、充電、メンテナンスモード運転後の正常終了時に表示されます。

約 30 秒経過後または[戻る]ボタンで元の画面に戻ります。



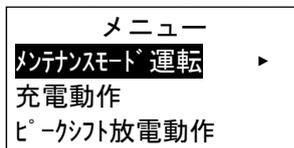
画面 4) メンテナンスモード運転要求画面

この画面は、1年に1回、6月1日になると表示されます。1年に1回はメンテナンス運転を行ってください。詳細は「10.設定操作方法 ② メンテナンスモード運転の実施」を参照。



画面 5) メニュー画面(設定を変更するときの画面です)

画面 2)の時に[▼]を押すと表示されます。詳細は「10.設定操作方法」を参照。



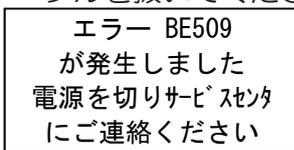
画面 6) 注意発生時 : 注意ランプ(橙)が点灯/点滅したときに表示されます。

1行目に、注意コードを表示します。
注意状態がなくなるか、[戻る]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
「12. 注意ランプが点灯/点滅したとき」をご参照ください。



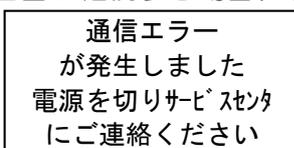
画面 7) 警告発生時 : 警告ランプ(赤)が点灯/点滅したときに表示されます。

1行目に、警告コードを表示します。
警告表示中は、状態の記録を行い、バックライトの点灯以外の操作はできなくなります。
警告コード表示時は、サービスセンターにご連絡したのち、AC出力スイッチをOFFし、入力のACケーブルを抜いてください。



画面 8) 内部通信異常時

「通信エラーが発生しました」と表示します。
通信エラー状態が解除されれば、元の表示に戻ります。
ただし、内部通信異常と同時に警告ランプが点灯しているときには警告画面のままとなります。
この画面が継続する場合、サービスセンターにご連絡ください。



10. 設定操作方法

ホーム画面のときに[▼]を押し、メニューを表示させて設定を変更することができます。メニューを表示させますと、バックライトが点灯します。いずれのメニューでも1分間操作しないとバックライトは消灯し、ホーム画面に戻ります。但し、それまでに設定した項目は記憶されます。

なお、動作の変更(③充電動作の開始と停止、⑤ピークシフト放電の停止等)を行いましても、実際にその動作に移るまでに10~15秒ほどかかります。

	説明
①時刻設定	入力電圧低下(停電)時に電気製品を連続して使用することを目的とされる場合は、①②のみの設定/操作でご使用になれます。
②メンテナンスモード運転の実施	
③ピークシフト設定 ③-2 開始設定(放電開始時刻 終了時刻(放電終了時刻) ③-3 非常時安心設定 ③-4 充電開始時刻 充電終了時刻	応用操作として、放電の開始時刻と終了時刻、充電の開始時刻と終了時刻を設定できます。 この設定をすると、夜間に充電し、昼間の電力使用量のピークにあわせて放電することができます。 ただし、太陽光発電をご利用の場合には利用制限がありますので、この取扱説明書をよくお読みになり設定を行ってください。
④手動充電動作の開始と停止	機種名、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます。
⑤ピークシフト放電の停止	
⑥本体情報表示	
⑦ログ表示	過去に発生した警告などを見ることができます。

操作の概略

手順 1) 電池のマークが出るまで[戻る]ボタンを押し、ホーム画面を表示させてください。

手順 2) [▼]を押し、メニューを表示させます。

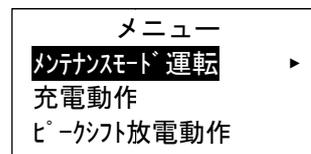
手順 3) [▼]や[▶]ボタンを押し、項目を選択します。
選択された項目は白黒反転表示になります。

手順 4) [決定]または[▶]ボタンを押すと次に進みます。
[戻る]ボタンを押すと1個前の画面に戻ります。

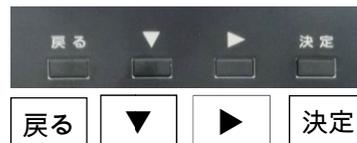
ホーム画面例



← 運転モード
← 電池残量
← 出力 x%
← メッセージ



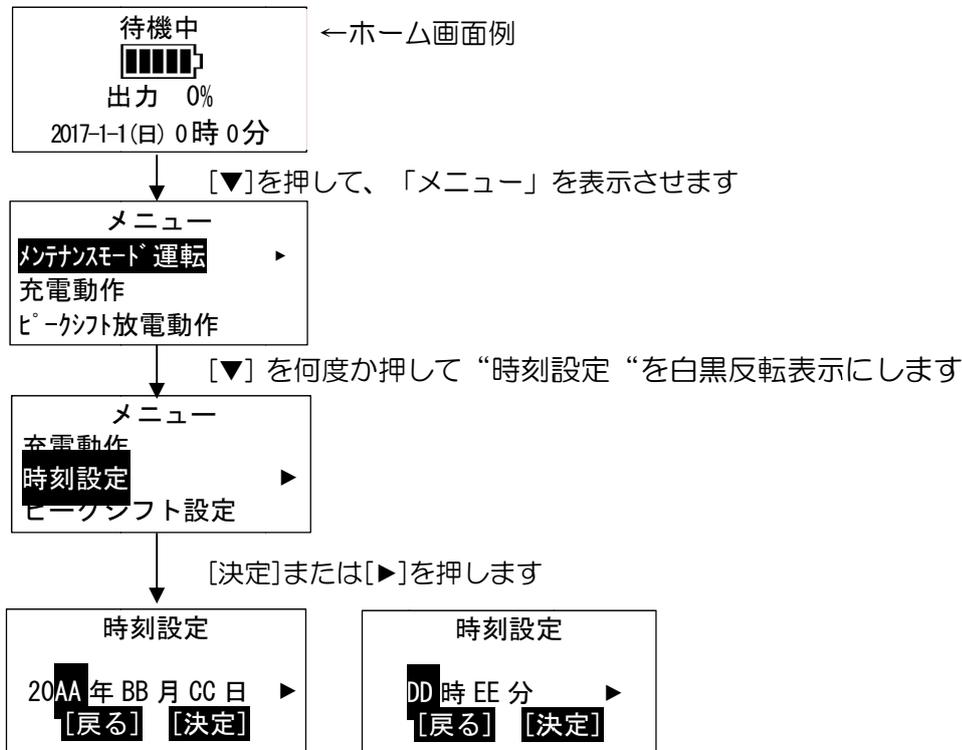
← メニュー画面
(一番上の行に「メニュー」と表示)



①時刻設定

画面に表示される時刻を設定できます。時刻は半年で 5 分ほどずれることがあります。半年に 1 度程度、時刻を設定することをお勧めします。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。

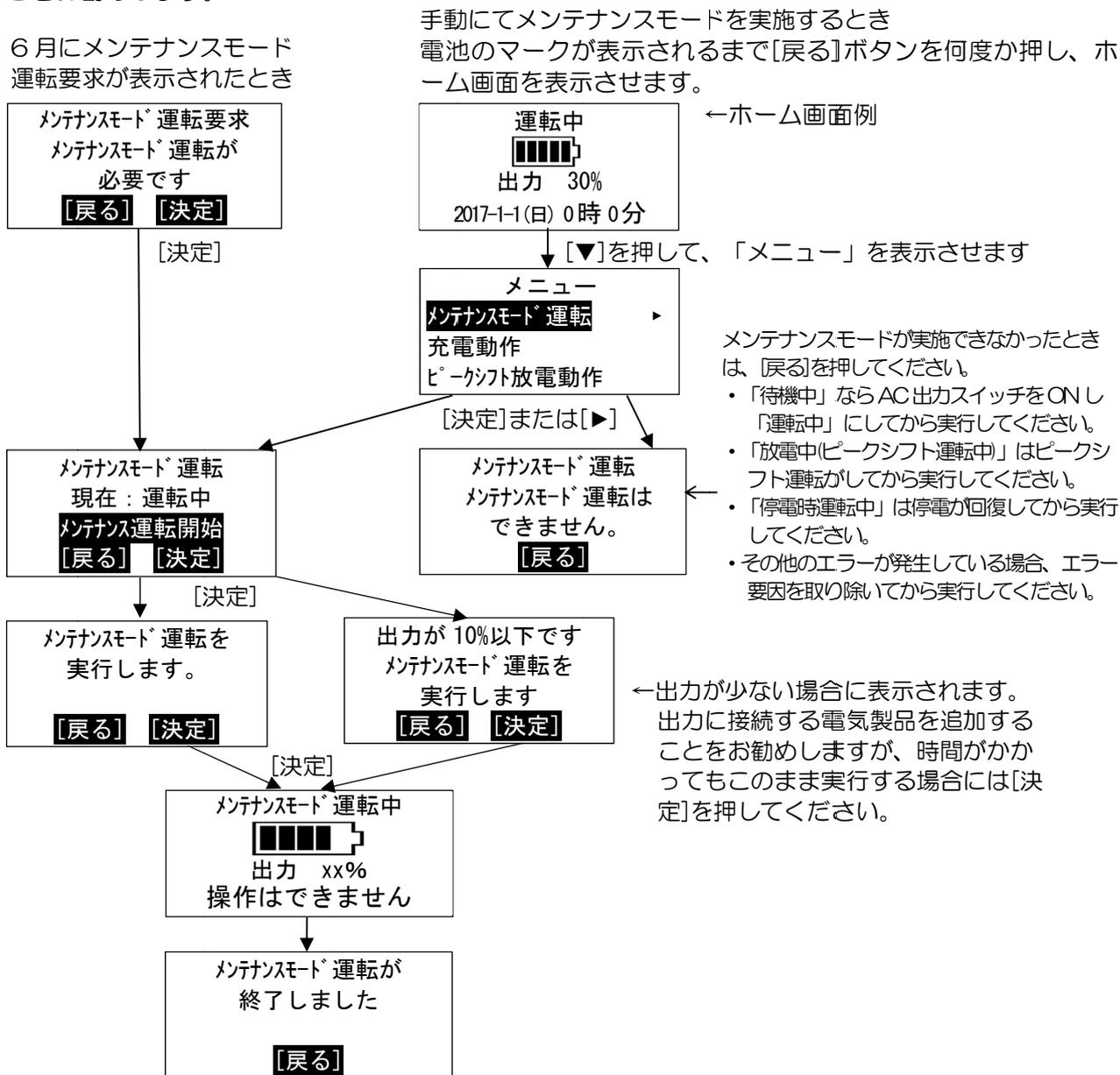


- [▶]ボタンを押すと年→月→日→時→分→年→月…と順番に設定内容を選択できます。
- [▼]ボタンを押すと値が変わります
- [決定]ボタンを押すと時間を確定し、「メニュー」画面に戻ります。

②メンテナンスモード運転の実施

メンテナンスモード運転とは、蓄電池の放電と充電を行うことで、蓄電池の状態確認を行います。毎年6月になると、「メンテナンスモード運転要求」画面を表示します。メンテナンスモード運転要求表示中は、液晶が点灯し続けます

出力電力が少ないと、終了まで30時間以上かかることがありますので、10%以上の負荷を接続することをお勧めします。



「メンテナンスモード運転要求」があってもメンテナンスモード運転を実施しなければ、6月中は「メンテナンスモード運転要求」画面が表示され続けます。

なお、メンテナンスモード運転中は

- ・出力スイッチのOFFや入力電圧低下(停電)発生時には途中終了となります。
- ・注意が発生した場合、内容によっては途中終了になります。
- ・過負荷などでは一時的にメンテナンスモード運転を中断し、注意が回復するとメンテナンスモード運転を再開します。

正常終了でない場合は、性能維持のため、再度メンテナンスモード運転を実行してください。

停電時に電気製品を連続使用したい目的のときは、設定/操作は以上です。

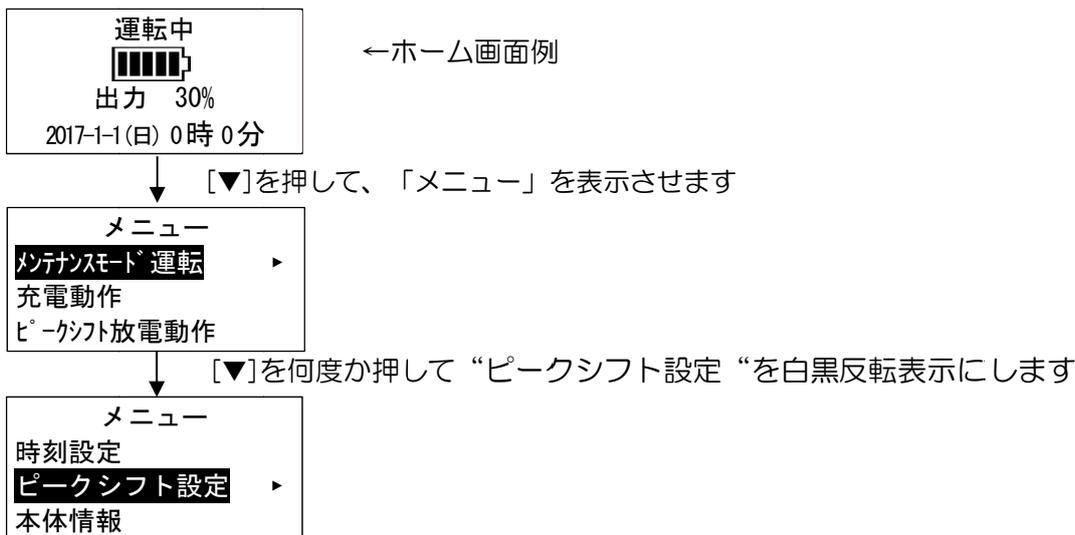
応用設定（ピークシフト）

③ピークシフト設定

ピークシフト運転中に出力スイッチを OFF にすると、ピークシフト運転は中断となり、その後、出力スイッチを ON にすると、通常運転に戻ります。このとき、満充電状態で無い場合は充電が始まります。ピークシフト中に入力電圧低下(停電)が発生すると、ピークシフト運転は中断となり、停電運転に切り替わり、入力電圧低下(停電)が回復すると充電を開始します。

③-1 ピークシフト機能を使用する

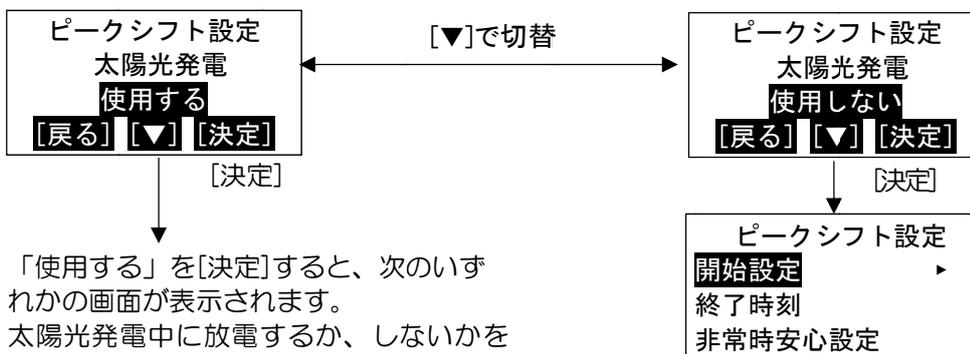
電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



[決定]または[▶]ボタンを押すと、次のいずれかの画面が表示されます。
ピークシフト機能を使用するか、しないかを[▼]で選択します。



「使用する」を[決定]すると、次のいずれかの画面が表示されます。
太陽光発電を使用しているか、いないかを[▼]で選択します。

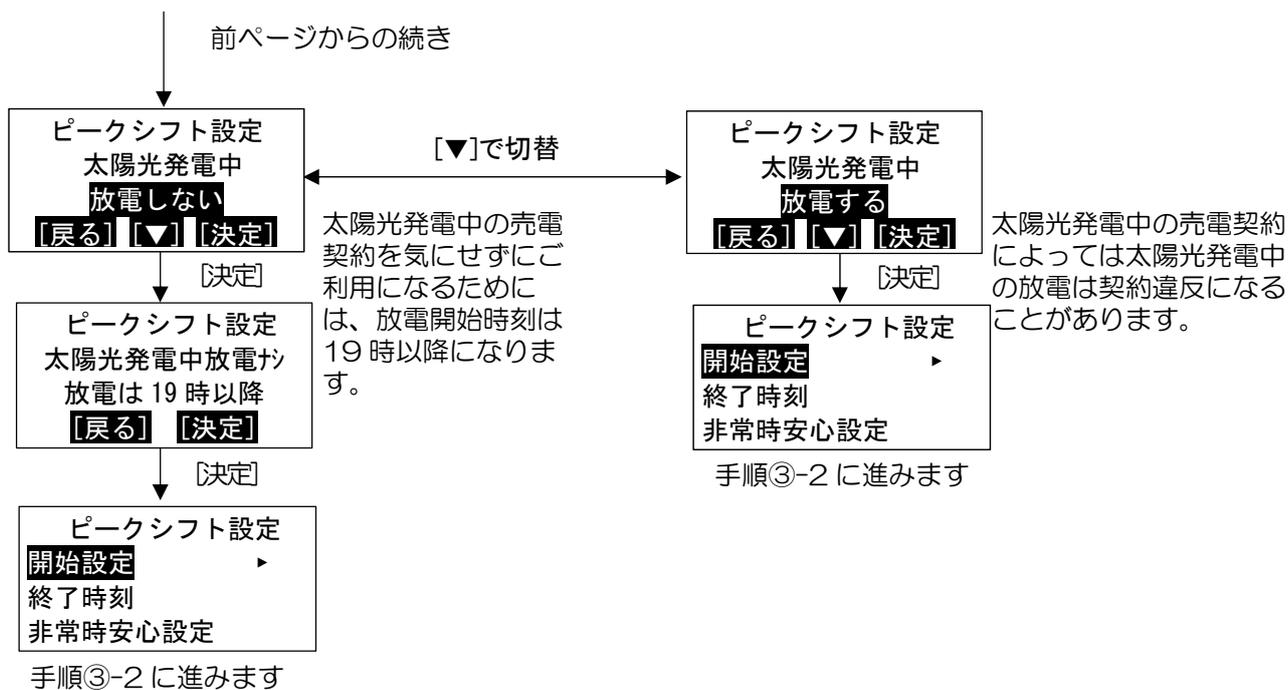


「使用する」を[決定]すると、次のいずれかの画面が表示されます。
太陽光発電中に放電するか、しないかを[▼]で選択します。

太陽光発電中に「放電する」を選択する場合、太陽光発電中の売電契約が“押し上げ有り”になっていることをご確認ください。

↓ 次ページに続く

手順③-2に進みます

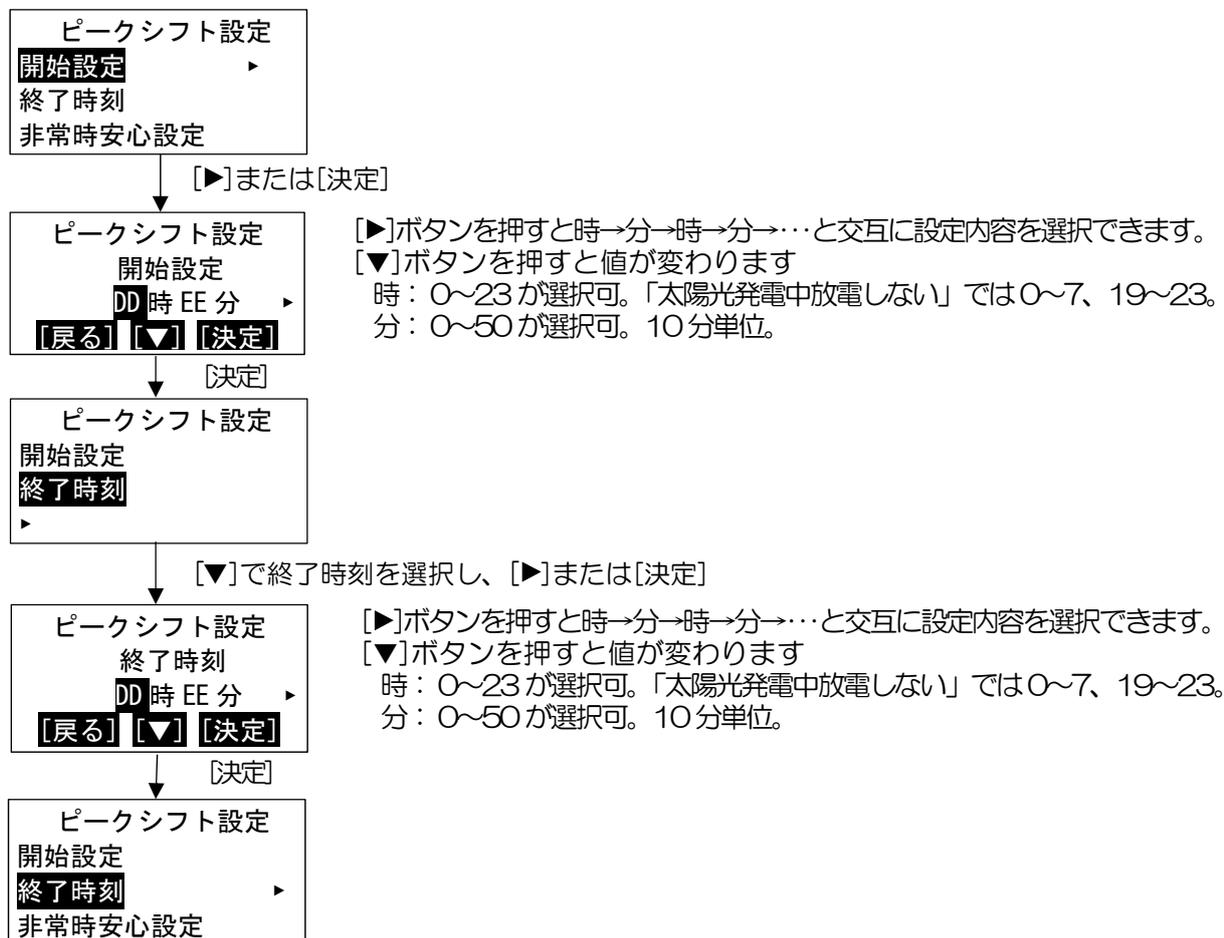


③-2 ピークシフト開始時刻、終了時刻

「太陽光発電中は放電しない」の場合。

- ・7：00-19：00 は設定禁止です。
- ・ピークシフト開始時間とピークシフト終了時間が同一時刻の場合、ピークシフト運転は実行されません。
- ・ピークシフト開始時刻 6：50 と設定した場合、放電は 6：50-7：00 となります。
- ・過去に7時00分から19時00分の間に設定されていても、19時00分に自動設定されます。

「太陽光発電中に放電する」の場合、7時から19時の間も設定可能です。



③-3 ピークシフト非常時安心設定

ピークシフト運転後に入力電圧低下(停電)になった場合にもバックアップ運転が行えるようにピークシフト運転での放電量を抑えるために設定します。

災害等が入力電圧低下(停電)に備える場合はピークシフト運転での放電量を抑えるため、非常時安心設定を多めに設定します。積極的にピークシフト運転をご利用になる場合は非常時安心設定を少なめに設定します。

ピークシフト設定
開始設定 ▶
終了時刻
非常時安心設定

[決定]

ピークシフト設定
開始設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶

[▶]または[決定]

ピークシフト設定
非常時安心設定
50%
[戻る] [▼] [決定]

[決定]

ピークシフト設定
開始設定
終了時刻
非常時安心設定 ▶

[戻る]ボタンで設定値を変更せずに「ピークシフトメニュー」の「非常時安心設定」に戻ります。
[▼]ボタンを押すと50%→30%→0%→70%→50%→30%→…と値を選択できます。

非常時安心設定を増やす方向に変更した場合(例えば50%を70%へ変更)、現在の蓄電池量が非常時安心設定を下回る場合があります。この場合、非常時安心設定に達するまで充電を開始します。この充電中は「⑤充電動作開始/停止」では停止できません。充電中に「③-4 ピークシフト充電開始時刻」になった場合は充電を継続します。

ピークシフト運転で放電している時に、ピークシフト終了時刻になるか、ここで設定したピークシフト非常時安心設定まで蓄電池容量が低下すると、ピークシフト運転を終了します。

③-4 ピークシフト充電開始時刻、充電終了時刻

ピークシフト充電の時間が短いと、十分に充電されないことがあります。ピークシフト充電開始時刻とピークシフト充電終了時刻は6時間以上になるように設定してください。ピークシフト充電開始時刻とピークシフト充電終了時刻が同一時刻の場合、ピークシフト充電は実行されません。

設定した充電終了時刻になると充電を終了します。

ただし、③-4 で設定した蓄電池残量に達していない場合は充電を継続します

ピークシフト設定
充電開始時刻 ▶
充電終了時刻

[▼]で充電終了時刻し、[▶]または[決定]

ピークシフト設定
充電開始時刻
DD時 EE分 ▶
[戻る] [▼] [決定]

[▶]ボタンを押すと時→分→時→分→…と交互に設定内容を選択できます。
[▼]ボタンを押すと値が変わります
時：0～23が選択可。「太陽光発電中放電しない」では0～7、19～23。
分：0～50が選択可。10分単位。

[決定]

ピークシフト設定
充電開始時刻
充電終了時刻 ▶

[▼]で充電終了時刻を選択し、[▶]または[決定]

ピークシフト設定
充電終了時刻
DD時 EE分 ▶
[戻る] [▼] [決定]

[▶]ボタンを押すと時→分→時→分→…と交互に設定内容を選択できます。
[▼]ボタンを押すと値が変わります
時：0～23が選択可。「太陽光発電中放電しない」では0～7、19～23。
分：0～50が選択可。10分単位。

[決定]

ピークシフト設定
充電開始時刻定
充電終了時刻 ▶

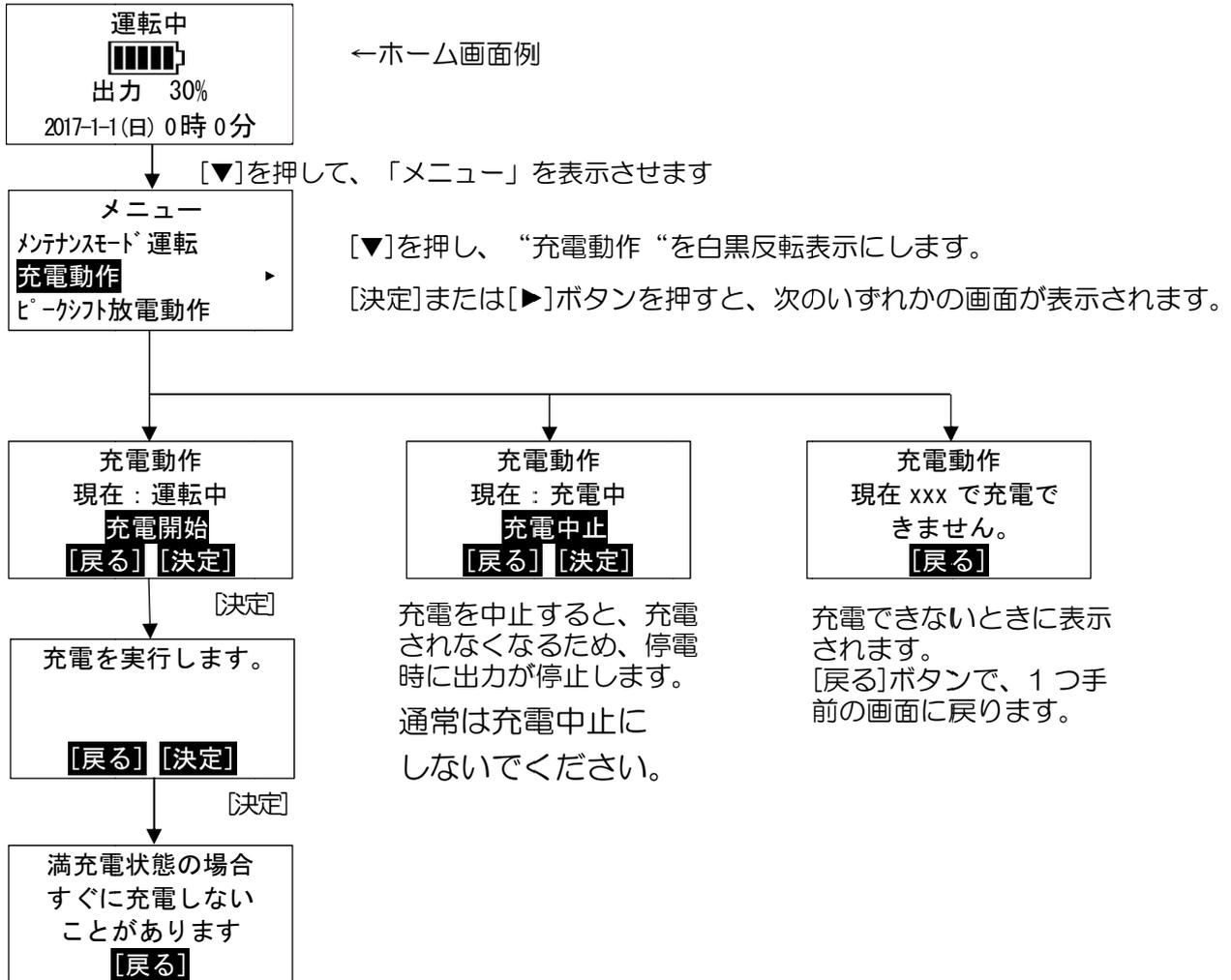
④手動(強制)充電の開始と停止

手動にて即座に充電を開始したり、充電している動作を停止することができます。

(通常の運転中以外は、充電を開始できません。ピークシフトについては 18 ページをご参照ください) バッテリー温度が高い場合、充電動作になってすぐエラー終了します。温度が下がってから再度行ってください。

「③-4 ピークシフト非常時安心設定」を変更した場合、現在の蓄電池残量が非常時安心設定以下になることがあります。この場合は「ピークシフト充電開始時間」にかかわらず「非常時安心設定」まで充電を行います。この充電中は操作により停止することはできません。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



充電を実行すると満充電まで充電を行い、満充電状態になると充電動作を終了し、充電待機状態となります。

ピークシフト運転機能をご使用の場合は、指定した時間になれば充電を開始し、満充電になるか、充電終了時間になれば充電を停止します。

充電中にピークシフト放電の時間になった場合、充電を優先し、その日のピークシフト放電はキャンセルされます。

ピークシフト放電では終了時間になるか、非常時安心設定まで放電するとピークシフト運転を終了します。ピークシフト運転機能を「使用する」から「使用しない」にした際には、自動的に充電開始状態になります。

操作を[決定]しても、実際にその動作に移るまでに最大 15 秒ほどかかります。

⑤ピークシフト放電動作（放電停止）

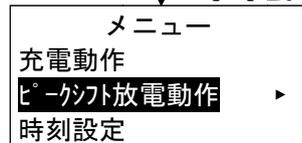
ピークシフト運転で放電中に放電を中断したい場合に使用します。
 但し、翌日の開始時刻になると放電を開始します。
 放電を停止すると、通常の運転中に戻ります。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



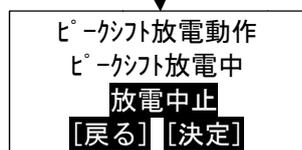
←ホーム画面例

[▼]を押して、「メニュー」を表示させます

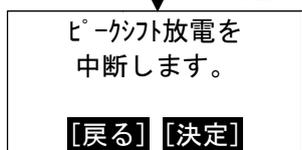


[▼]を押し、“ピークシフト放電動作”を白黒反転表示にします。
 [決定]または[▶]ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

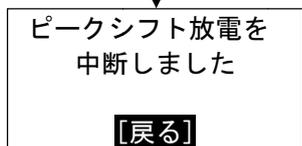
[決定]



[決定]



[決定]



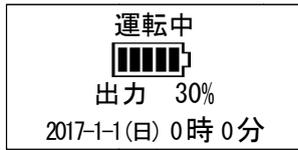
[戻る]ボタンで、メニュー画面に戻ります。

なお、

ピークシフト運転を実施していないときは、画面 3)に「ピークシフト放電を行っていません」と表示されます。
 操作を[決定]しても、放電を停止するまでに 10~15 秒ほどかかります。
 また、入力電圧低下(停電)による放電は停止できません。

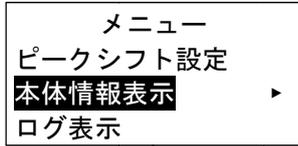
⑥本体情報表示

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



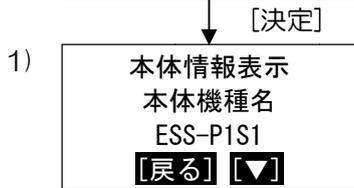
←ホーム画面例

[▼]を押して、「メニュー」を表示させます



[▼]を押し、「本体情報表示」を白黒反転表示にします。

[決定]または[▶]ボタンを押すと、本体情報が表示されます。



表示項目	表示内容
1) 本体機種名	"ESS-P1S1"
2) 製造番号	12 文字
3) 製造年月	年 2 桁、月 2 桁を表示
4) バージョン番号 1	バージョン番号 1 例"0001"
5) バージョン番号 2	バージョン番号 2 例"P001"
6) 充電可能容量	0~100%
7) 積算消費電力量 (積算入力電力量)	AC 入力されてからの積算値です。待機中に 入力 AC ケーブルを抜くとリセットされます。
8) 積算運転時間	今までに運転した時間です。
9) 積算放電電力量	今までにバッテリーが放電した電力です。
10) 積算充電電力量	今までにバッテリーに充電した電力です。
11) 前回メンテナンス実行日	前回のメンテナンス実行日
12) 次回メンテナンス要求日	次回メンテナンス要求日

[▼]を押すたびに、次の順番に表示します。

- 4) バージョン番号 1
- 5) バージョン番号 2
- 6) 充電可能容量
- 7) 積算消費電力量
- 8) 積算運転時間
- 9) 積算放電電力量
- 10) 積算充電電力量
- 11) 前回メンテナンス実行日



一番下に達すると最初の 1) 本体機種名表示に戻ります。

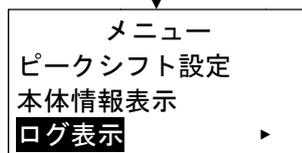
⑦ ログ表示

運転時刻、注意、警告の発生時刻などを記録しており、それを表示することができます。ログには次の 4 種類があります。いずれも 10 件まで記録し、超えた場合は古いものから削除されます。

電池のマークが表示されるまで[戻る]ボタンを何度か押し、ホーム画面を表示させます。



[▼]を押して、「メニュー」を表示させます



[▼]を押し、“ログ表示”を白黒反転表示にします。

[決定]または[▶]ボタンを押すと、「ログ表示：種類」の画面が表示されます。



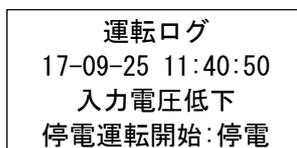
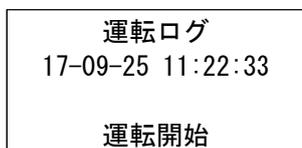
[▼]を押すと、ログの種類を順番に表示します。一番下に達すると最初に戻ります。

表示したいログを選択し、[決定]または[▶]ボタンを押すと、ログ種の画面が表示されます。

• 運転ログ

運転の開始、停止、ピークシフトによる放電等、出力停止に至らない一部注意情報(停電等)等の運転動作に関するログです。

表示例)

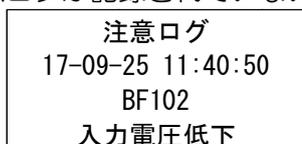


• 注意ログ

温度異常や過負荷、入力電圧低下(停電)など、注意を要する状態に関するログです。

過去に注意ログが記録されていない時には何も表示されません。

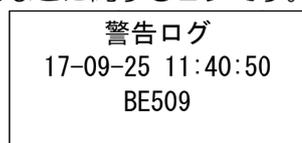
表示例)



• 警告ログ

本体の異常などに関するログです。過去に警告ログが記録されていない時には何も表示されません。

表示例)

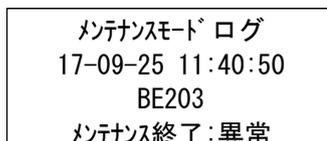
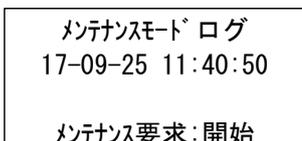


• メンテナンスモードログ

メンテナンスモードの要求表示や実施状態に関するログです。

過去にメンテナンスモードログが記録されていない時には何も表示されません。

表示例)



× ㊦

11. こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と停止時に発生します)
カチャ音	
ブーン音	ファンの音です。

- 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

入力電圧低下(停電)時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、本製品が停止します。入力電圧低下(停電)が回復すると自動的に充電を行います。

長期間ご使用にならないとき

出力を停止したまま長期不在にする場合は、充電後に本装置を停止させてください。長期不在にする場合でも、6か月に一度は入力を接続し、出力を開始して充電してください。本装置を長時間放置して完全に放電してしまうと、本装置が起動しなくなったり、蓄電池が使用できなくなる可能性があります。

風水害または地震時の対応

風水害時に冠水のおそれがあるときは、あらかじめ本製品の AC 出力スイッチを OFF し、運転を停止させたのち、入力の AC ケーブルをぬいてください。また、冠水した場合には、本製品を停止させて入力の AC ケーブルを抜き、販売店までご連絡ください。

地震の場合は、被害状況に応じて、販売店までご連絡ください。

※ 出力が出ているときに入力のケーブルを抜くと停電状態となり、蓄電池の電気を消費します。かならず、入力の AC ケーブルを抜くときは、出力を OFF してから行ってください。

停電時に太陽光発電の自立運転機能を使用するとき

停電時に太陽光発電システムの自立運転機能を使うと、太陽のエネルギーで本器を動作(充電、出力)させることができます。

太陽光発電を自立運転にするには、太陽光発電の取扱説明書に従って、太陽光発電の切り替えを行ってください。

本器で太陽光発電の自立運転を利用するには、本器の入力の AC ケーブルを太陽光システムの自立運転コンセントに接続してください。

※ 出力中に本器を移動しないでください。入力の AC ケーブルが太陽光発電の自立コンセントに届かない場合は、十分な太さの延長コードをご用意ください。

※ 本器が十分に充電されていない時に入力の AC ケーブルを抜くと、出力が停止することがあります。

※ 太陽光発電の出力が低下したり不安定になると、蓄電池からの出力に自動的に切り替わります。

※ 復電したら、入力の AC ケーブルを元のコンセントに接続しなおしてください。

12. 注意ランプ(橙)が点灯/点滅したとき

注意ランプ(橙)が点灯/点滅したときは、次の表に従って処置してください。

■ 注意コードの内容と処置

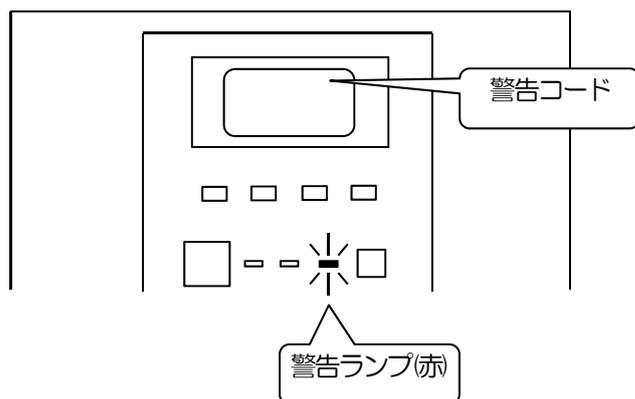
注意コード	内容	処置
BC417	電池容量低下	蓄電池に充電出来る容量が半分以下になっています。充電出来る容量が半分以下に低下しても引き続きご利用頂けます。
BE110	過負荷です	負荷を減らしてください。
BE203	過負荷です	負荷を減らしてください。
BE408	蓄電池放電禁止 内部保護が働き、蓄電池からの放電を強制終了しました。	しばらく様子を見てください。
BE416	放電禁止(セルアンバランス充電警告)	しばらく様子を見てください。
BF101	入力電圧が高くなっています。	入力電圧低下(停電)など、入力電源の異常です。出力中は蓄電池からの電気を出力します。しばらく様子を見てください。
BF102	入力電圧が低くなっています。	
BF103	入力周波数が高くなっています。	
BF104	入力周波数低くなっています。	
BF403	過充電警告	しばらく様子を見てください。
BF404	蓄電池放電終了(蓄電池運転時) 蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。	充電してください。
BF405	蓄電池の温度が高温になったことを検知したため、出力を停止しました。	周囲温度 0~+40℃の範囲で使用してください
BF405	蓄電池の温度が低温になったことを検知し、出力を停止しました。	
BF406	蓄電池充電停止 内部保護が働き、蓄電池への充電を強制終了しました。	しばらく様子を見てください
BF508	機内温度上昇 内部温度が高温になったことを検知しました。	吸排気口の周囲をあけたり、負荷を減らしてください。
PW962	蓄電池残量低下(蓄電池運転時) 蓄電池残量が低下したため、まもなく出力が停止します。	負荷を減らしたり、出力停止に備えて下さい。
PW969	過負荷停止 2(蓄電池運転時) 定格を超える電力の使用を検知し、出力を停止しました。	接続している機器を減らしてください。
PW970	過負荷停止 1(通常運転時) 定格を超える電力の使用を検知したため、充電およびピークシフト運転を中断しました。	接続している機器を減らしてください。
PW975	機内温度高温 内部温度が非常に高温になったことを検知し、充電およびピークシフトを中断しました。	吸排気口の周囲をあけたり、負荷を減らしてください。また、周辺温度が高い場合は周囲温度を下げてください。
PW987	蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。(蓄電池運転時)	充電してください。
PW988	充電電圧警告 充電電圧が異常を検知し、充電を停止しました。	しばらく様子を見てください
PW991	蓄電池残量僅少 (通常運転時、ピークシフト運転時)	充電してください。また、手動充電を行って様子を見てください。
PW992	蓄電池の残量が低下し、出力を停止しました。(ピークシフト運転時)	充電してください。

13. 警告ランプ(赤)が点灯/点滅したとき

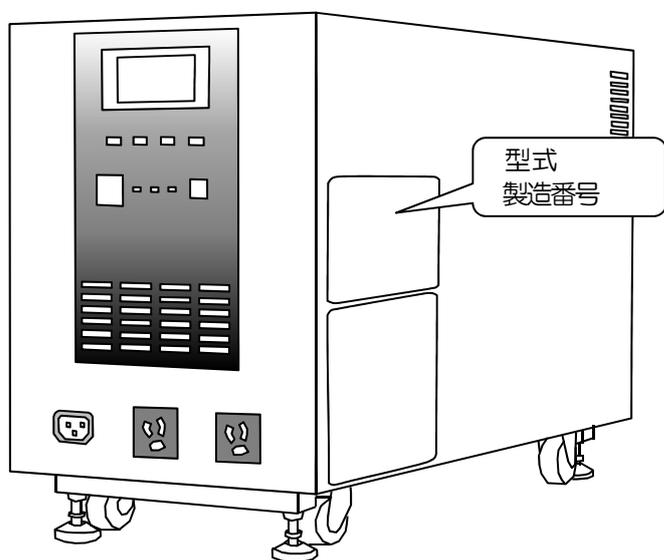
警告ランプ(赤)が点灯/点滅したときは、

- 画面に表示されている警告コード
- 型式(機種名) [ESS-P1S1]
- 製造番号

を弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売店に連絡してください。
また、AC 出力を停止し、入力の AC ケーブルを抜いてください。



警告コードの例
BE112
BF408
PT906



14. 点検とメンテナンス

■定期チェック

半年に1度、次の事項をチェックしてください。

本製品に触れる際は、前面のAC出力スイッチを“OFF”にし、入力のACケーブルを壁コンセントより抜いてください。

- 吸気口、排気口に付いたゴミ、ほこりの除去
- 周囲荷物の積み上げ等の確認
- 出力コンセントにほこりがたまっている場合、火災防止のため乾いた布で取り除いてください

■メンテナンスモード運転の実施

メンテナンスモード運転は、蓄電池の状態確認を行います。

メンテナンスモード時は蓄電池の性能を維持するために、約10%(約80W)以上の負荷が必要となります。

メンテナンスモードの実施 17 ページを参照してください。

本製品の性能維持のために、年1回6月に「メンテナンスモード運転要求」画面を表示します。この画面で[決定]ボタンを押すと、メンテナンスモード運転メニューに入ります。但し、運転中か充電中以外はメンテナンスモード運転を実施できません。

「メンテナンスモード運転要求」表示中に[戻る]で戻るか、メンテナンスモード運転を実行すると「メンテナンスモード運転要求」は表示されなくなります。

注意等、より重要な表示以外は6月中は「メンテナンスモード運転要求」画面を表示し続けます。また、この間バックライトは点灯を続けます。

- ※ メンテナンスモード運転を実施しないと、性能が維持できず動作しなくなる場合があります。
- ※ 電池性能維持のため、メンテナンスモード運転中はメンテナンスモード運転が終了し通常運転の画面に変わるまで、運転モードの変更はお控えください。
- ※ メンテナンスモード運転中も、普段と同じように、電気製品をお使いいただけます。
- ※ メンテナンスモードでは、蓄電池残量0%まで放電した後、100%まで充電を行います。そのため、800Wの電力をご使用の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は7時間程度となります。
- ※ 出力電力が少ない場合は、一日でメンテナンスモード運転が終了しないことがあります。
- ※ メンテナンスモード運転中は、出力の停止のみ行えます。出力を停止するとメンテナンスモード運転はキャンセルされます。
- ※ メンテナンスモード運転中に入力電圧低下(停電)が発生すると、メンテナンスモード運転はキャンセルされます。入力電圧低下(停電)回復後、再度メンテナンスモード運転を実行してください。

15. 保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。
保証書は巻末に印刷されています。必ず販売店名、販売日等の記載内容をお確かめになり、大切に保管してください。

アフターサービスについて

本製品のアフターサービスは代替機を貸出し、製品をお預かりし、修理いたします。
修理完了後、お届けと同時に代替機を回収させていただきます。
修理には2-3週間かかる場合がありますがご不便をかけないよう対応させていただきます。

- ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、販売店にお問い合わせください。販売店がご利用いただけない場合は、下記のニチコンサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。
- 修理を依頼される時
修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。
 - ・ お買い上げ時期
 - ・ 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
 - ・ 故障の状況（警告コード、故障発生時の時間と天候など）
- 補修用性能部品の最低保有期間
 - ・ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 - ・ 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後、10年です。
- 製品を廃棄するときは、お買い上げの販売店またはお客様窓口にお問い合わせください
 - ・ 製品に使われている蓄電池はリサイクルが必要です。
 - ・ 本製品にはリチウムイオン電池を内蔵しており、粗大ごみとして廃棄することはできません。

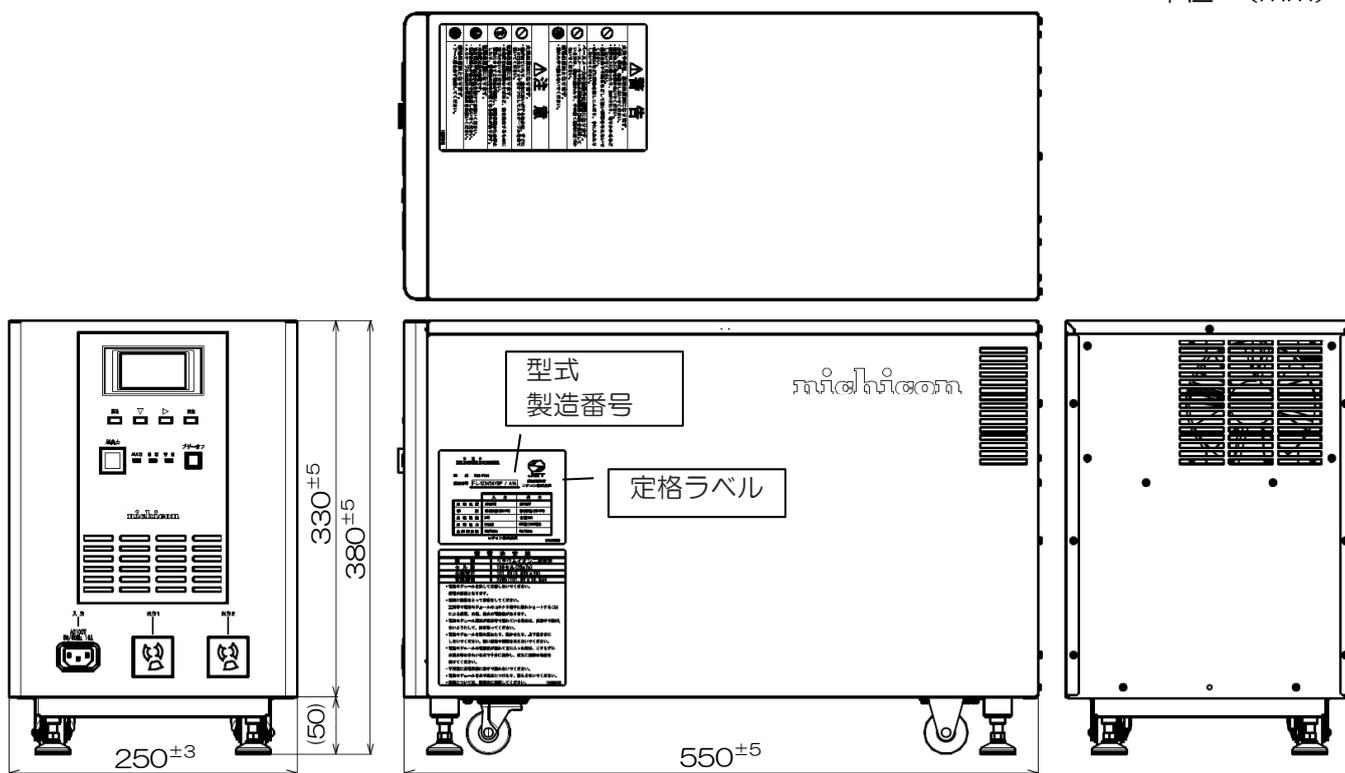
故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社 サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日: 9~20時、土・日・祝日・休業日: 9~18時
製品の使用方法等 に関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社 お客様窓口 電話 : 0120-215-086 メール : info-ess@nichicon.com 平日: 9 ~ 17 時、土・日・祝日・休業日は除く

16. 仕様

項目	仕様	備考
蓄電容量	2 kWh	
定格入力電圧	AC100V	
定格周波数	50Hz/60Hz	周波数自動検出
定格入力電流	10A±1A 満充電時 14A+0A/-2A 充電電流最大時	定格入力電圧、1000VA/800W 負荷、 周囲温度 25℃
定格出力	AC100V 1000VA 800W	
充電時間	6 時間	
系統連系	非連系	
温度条件	0℃~40℃	
製品寿命	10 年	蓄電池を除く
切替時間	10ms (UPS 機能)	
停電時運転可能時間	約 2 時間	初期値、定格出力、満充電状態
外形寸法(W×D×H)	250×550×380[mm]	突起物を除き、キャスト含む
製品重量	38[kg]	電池パック約 19kg 含む
筐体材質	塗装付き亜鉛メッキ鋼板	
電源入出力部	入力	インレット
	出力	アウトレット (ロック付 2個)
筐体材質	スチール製	
冷却方式	強制空冷 (120mm 角 FAN 1 つ搭載)	前面吸気/背面排気 内部温度により速度調整あり
付属品	入力 AC ケーブル (2m 1 本) 製造番号ラベル (保証書用 1 枚)	
適用規格	S-JET	

17. 外形寸法

単位：(mm)



× ㊦

ポータブル蓄電システム保証書

品名	型式
ポータブル蓄電システム	ESS-P1S1
製造番号	添付の製造番号ラベルを貼ってください
保証期間	10年間 (ただし沖縄・離島は1年間、販売日より起算。)
販売店名	販売日
住所	年 月 日
電話番号	
お客様	お名前
	様
	ご住所：〒 -
	電話番号：

本保証書は、左記機器について、本記載内容に基づき無償修理または無償交換をお約束するものです。

左記保証期間中に故障が生じた場合は、本保証書をご提示の上、左記の販売店に修理をご依頼ください。
(下記の免責事項等を必ずご覧ください)

本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

お客様個人の情報につきましては、アフターサービス、新製品・サービスに関する情報のお知らせのためにのみ利用いたします。

ニチコン株式会社
NICHICON CORPORATION

〒604-0845
京都市中京区烏丸通御池上る

販売店様へ：保証書の販売店、販売日をご記入いただき、販売店様のご捺印の上、本書をお客様にお渡しください。
販売日の記入がない場合には、有償修理になる場合がございます。

保証内容

お買い上げいただいた表記システム（ポータブル蓄電システム）を当社の発行する取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従い、正常に使用したにもかかわらず、表記システムまたは各部品に製造上の不具合が発見された場合本書記載に基づき無償修理をいたします。但し上記システムの損傷を原因として損害保険金及び損害賠償金を受け取られた場合はこの限りではありません。また、お客様およびお客様と世帯を同じくされる親族の故意または重過失に起因する家屋の損壊は除きます。

尚、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費はお客様負担となります。

※蓄電池は消耗品の為に徐々に充電容量が低下して放電できる時間が短くなります。

この充電容量の低下は保証対象外です

免責事項

保証期間中であっても以下の場合には有償修理となります。

- 下記の事由による故障または損傷
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル表示に反する使用上の過誤
 - 製品周りの掃除等、取扱説明書に記載した設置環境の状態維持を著しく怠ったことに起因する場合
 - 地震・噴火・風水害・津波・落雷その他天災地変などの自然災害、火災爆発、公害、戦争、テロ、外来の事故またはその他不可抗力もしくは虫、鳥、ネズミ等の動物起因
 - 経年変化または通常の使用状態により発生した音、振動、錆、傷、変色
 - 機器の使用開始日に実用化されていた技術では予想不可能な現象
 - 機器に表示してある以外の使用電源（電圧・周波数）での使用
 - 本保証書に販売日が未記入または販売日が分かるものが提示されない場合
 - 取扱い上の不注意（落下・転倒・衝撃・水掛かり・機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど）による故障
 - 前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障
- 次に示します費用はお客様負担となります。
 - 販売店以外での修理費用
 - 本書記載内容に基づく無償修理を除き、表記システムの故障に起因し、もしくは関連して発生したお客様の損失（電気、水道、ガス代等）

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845 <http://www.nichicon.co.jp>

- この取扱説明書はリサイクルペーパーを使用しています。